



KOSÉ 環境報告書 2002



K O S É

C O N T E N T S

- 02 研究本部のチャレンジ
- 05 コーセーの
環境マネジメントシステム
「環境基本方針」、
「環境行動指針」について
環境活動のあゆみ
コーセーの環境マネジメント
環境活動推進の組織体制
- 09 2001年度の活動報告
環境指標
環境に配慮した製品の開発
産業廃棄物の削減
省エネルギー
環境汚染の防止
物流段階の環境保全
オフィス部門でのエコ活動
社内における環境教育と
啓発活動その他の取り組み
- 20 環境会計



人と地球にやさしい化粧品づくりに努めます

私たちの暮らす地球は危機的状況を迎えています。温暖化や異常気象、環境汚染、資源の枯渇……個人として何をしなければならないのか、またどのような活動に参加すればよいのか、実は「よくわからない」と多くの方は思っているのではないのでしょうか。

企業も過去、同じような状態でした。公害問題が起き、石油危機があり、オゾン層の減少が現実のものとなって、企業も自らの活動を見直さなければならぬ時代になりました。そして今では、環境保全活動は企業経営上の重要な課題のひとつにまでなっています。

コーセーも1970年代に社内に公害防止委員会を設置するなど、早くから企業として環境問題に取り組んで来ました。1991年には化粧品にたずさわる企業として『美しい知恵 人へ、地球へ』を企業メッセージとして掲げました。この理念を実現していくために、ご利用いただいた金額に応じて当社が地球環境財団に寄付を行うクレジットカードの発行、リサイクル活動の推進などに力を注いできました。

しかし、地球環境保護に向けた世界的な意識の高まり、企業活動の広範化などから、1997年には社内に地球環境委員会を発足させ、地球環境保全への活動を本格化させました。現在ではそれぞれ5項目からなる『環境基本方針』と『環境行動指針』を策定し、全社をあげて取り組んでいます。なかでも、『環境基本方針』の第2項に掲げた『常に環境負荷低減型の原材料の使用、および商品の研究開発に努めます』という理念は、化粧品を創り、お届けする私たちにとっては最も重視すべきことであると考えています。

このような考え方を基本に、私たちは環境保全活動に取り組んでおりますが、2001年4月から2002年3月までの1年間にわたる活動について環境報告書というかたちにまとめました。コーセーの活動について知っていただくとともに、率直なご意見を賜りたいと考えております。皆様のご意見を参考に、今後の活動をさらに実りあるものにしてまいりたいと思っておりますので、よろしくご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

2002年9月
株式会社コーセー
代表取締役社長 小林 保清

